

## 平成20年度事業計画

福祉住環境コーディネーター協会  
平成20年4月1日～平成21年3月31日

本協会は、その活動を通じて個々の会員の能力向上と福祉住環境コーディネーターの認知度の向上につとめ、会員の啓発と活躍を支援する使命を果たします。

昨年度の事業の成果を踏まえ、一層充実したサービス事業の展開と組織基盤の強化をはかるため、本年度の重点目標を次のように定め、以下の事業を行います。

### 重点目標

福祉住環境コーディネーターに必要な知識についての研修、情報の収集と提供機能の強化。

会員組織の強化、新たなサービスの開発と提供。

会員相互および関係職種者との交流・ネットワーク強化に資する事業。

### 1 研修・啓発に関する事業

#### (1) ベーシックセミナー・合格者セミナーの実施

合格者・初級者を対象に当協会倫理綱領等についての講座、及び不得意分野を補う基礎講座を各地で開催する。

#### (2) スキルアップセミナーの実施

検定試験合格レベルより更に高いレベルの知識提供のために、より実践的な内容で実施する。実施に際しては、これまでの体系の再構築につとめ、地域的なニーズ等への対応をはかる。

#### (3) 施設見学会の実施

国内外の医療・福祉・介護・福祉機器関連施設の見学会を、当協会にふさわしい視点・方法で実施する。

### 2 情報の収集と提供機能に関する事業

#### (1) 情報誌の発行(年3回)

#### (2) ホームページ・メールマガジンの機能強化

コンテンツの更なる充実・メールマガジンの刷新等により広報機能を強化する。

#### (3) 情報提供サービスの充実

インターネット等により会員が各種情報を収集できるメニューを充実するとともに、携帯電話への情報発信サービスの具体化に取り組む。

- (4) 地方自治体へのPR活動  
各自治体に管内の会員を紹介すると同時に、情報誌を送付し「住宅改修に関する理由書」への対応について調査をおこなう。
- (5) 関係団体・事業者との連携  
有力な展示会への出展、「福祉用具の日(10月1日)」との連携事業などをおこなうことにより福祉住環境コーディネーターの認知度の向上をはかる。

### 3 会員の交流に資する事業、及び組織・サービスの強化に関する事業

- (1) タウンミーティングの実施  
FJC検定合格者相互あるいは関係職種者との相互啓発、ネットワーク強化のための交流事業を全国で開催する。
- (2) 会員組織の拡充と強化  
望ましい会員組織のあり方と、それを実現するための具体的な方途を検証し、あらゆる機会をとらえた増強活動を実施する。
- (3) 新たな会員サービス事業  
「おむつのファッションショー」「高齢者のための栄養講座」などの新たな切り口の事業により、会員サービスメニューを強化する。